

NATO の更なるウソ：“ロシアのウクライナ侵略が我々の自由、安全、繁栄を脅かす”

By Global Research News

September 04, 2014

<http://www.globalresearch.ca/more-lies-from-nato-russias-aggression-against-ukraine-threatens-our-freedom-security-and-prosperity-anders-fogh-rasmussen/5399496>

ここに読者の注目のもとに曝すのは、ウェールズ、ニューポート市での *Atlantic Council of the United States' Future Leaders Summit* での、NATO 議長 *Anders Fogh Rasmussen* の開会の言葉である。

“NATO のビジョン” の根底にある鍵的なコンセプトは**太字**にしてある。

紳士淑女の皆様、親愛なる友人たち、コリンダ、



とても心のこもった、そしてちょっと驚いた紹介をしていただきありがとうございます。私たちがラルプ・デュエズで会ったとは知りませんでした。しかしラルプ・デュエズに登ったことはよく覚えています。あのたいへんな連なった 21 のカーブです。しかし私は、真に有能な、または未来の議長にとっては、ラルプ・デュエズに登ることは、実にすばらしい訓練だと思えます。これは上り坂ですが最後に私たちは成功します。そしてこれこそ、まさに NATO の内部での仕事だと私は思っています。28 の国家の意見を一致させるのは難しいこ

とですが、しかしこの日の終わりには、強いコンセンサスの精神が見えています。そしてその連帯の精神のおかげで、重要な決定をするのに我々は成功します。

我々は、この連盟の歴史上最も重要なサミットの一つを始めようとしており、ここウェールズの NATO サミットに、皆様方をお迎えするのは大きな喜びであります。

〔これは重要である。なぜならそれは、28 の加盟国による、ロシア連邦に向けられた戦争計画の受諾を求めているからである。NATO が欲しいのは、28 加盟国家の“コンセンサス”つまりロシア連邦への全面戦争の準備だけでなく、必要ならば、それを実行するための“青信号”である。〕

また大西洋評議会が、再び、この「未来の指導者サミット」を組織してくださったことに、心からお礼を申し上げます。…（中略）…

私は 1960 年代にデンマークに育ちましたが、成人となったのは、引き裂かれて危険なヨーロッパでした。それは核兵器の撃ち合いで、すべてが一瞬にして終わり得る時代でした。あなた方の経験は大いに違っています。あなた方は、戦争が抑えられていたヨーロッパで、ベルリンの壁が落ちた後で成人されました。そこでは分割線が消されていました。そして自由と安定と繁栄がそこではごく自然な状態に見えました。

ロシアのウクライナへの侵略は、目覚まし時計のようなものでした。それは我々に、我々すべてに、自由と安定と繁栄は、当たり前なものではないことを思い出させました。

誰かがヨーロッパで、武力と血によって分割線を引き直そうとしています。だから分割されない、自由で平和なヨーロッパは、まだ進行中の仕事なのです。

NATO はこの困難な仕事に敢然と立ち向かってきました。我々はロシアとの協力を破棄しました。我々はパートナーであるウクライナとの協力を増強しました。我々は、我々の集団防衛を強化しました。そして、自己防衛のために必要などんなことでもするという決心をしました。

〔NATO のプロパガンダは、ニセの証拠を使って、またマレーシア航空機 MH17 の墜落をロシアの仕業にするという“ニセ旗”を使って、「ロシアのウクライナ侵略」を主張するものである。アメリカと英国と NATO は、不法な野合政府を、ナチスの旗を振るネオナチ軍団と国家防衛軍によって支えている。〕

オバマは9月3日に、「ロシアの兵器をもち、ロシアの戦車に乗ったロシアの戦闘部隊」が、東部ウクライナに配備されているのを確認したと言った。

これはウソといっても単なるウソでなく、人類を第三次大戦に突き落とすかもしれないウソである。

欧州安全保障協力機構（OSCE）の監視団は、「いかなる軍隊も弾薬も兵器も、ロシア-ウクライナ国境を越えているのを確認していない」。

NATOはオバマの言明を、“ニセの”衛星写真（8/28、2014）を用いて支持し、これは「ロシアの戦闘部隊がウクライナの主権領域内で軍事行動に携わっていることを示すものだ」と言った。こうした言明は、ロシア-ウクライナ国境に配置されたOSCEのモニター派遣団の詳細な報告によって、退けられている。NATO報告は、この衛星写真を含めて、ニセの証拠に基づいている。]

しかしロシアの侵略的な振舞いが私たちの直面する唯一の問題ではありません。冷戦の終結以来、最大の数の危機が、いま我々の周囲のあらゆる場所に同時に現れています。我々の国境を越えて、本国にいる我々にも直接影響を与え得るような、無秩序の雰囲気があります——犯罪的な体制や暴力的な過激派から重大なサイバー攻撃にいたるまで。

[この無秩序の危機は、米-NATOの後押しする戦争と、半世紀も続いている隠れた作戦行動の結果である。]

ウェールズ・サミットが決定的に重要なサミットであるのは、こうした理由からです。いま重要な時です。我々が今日また今後も、より複雑で無秩序な世界に対して、より強力なNATOを築くのはそのためです。

私たちは、我々の軍隊を、より迅速で、より適した、より柔軟なものにする「即応行動プラン」を採ります。どんな問題にも即応できるということです——いつそれがやってきても、どこからやってきても。

我々はすでに必要とする装備、能力、専門技術をもっています。しかし我々の力の態勢、位置取り、インフラストラクチャなどに、ある修正が必要です。要するに、東側へのもっと目に見えるプレゼンスが必要なのです。このためには、現代的な、配備可能な戦力への継続的な投資が必要です。

[ここで言っているのは、東ヨーロッパを軍国化し、ロシアの玄関に軍隊を配備し、軍事行動でロシアを脅かすという意味である。こうした軍事的配備は、第三次大戦シナリオに世界を導き、それはまた人類を核戦争に導く可能性がある。]

私たちのサミットは、減少していく防衛予算を逆転させる鍵的な機会となるでしょう。そしてこれはまた、この同盟が、もっと公平に安全保障の責任を分担するためでもあります。

[ここで提案されているのは、軍事予算を増加し、医療、教育、住宅、社会福祉など、他のすべての支出を犠牲にして、新技術の兵器の生産を盛んにすることである。

これは“防衛請負業者”や、“安全保障”のための傭兵派遣会社にとっては、莫大なドル収入となる。これがヨーロッパや北米にとって意味するのは、貧困と失業である。“ビジネスにとっては戦争ほどありがたいものはない”。]

私たちはまた、このサミットを機会として我々の結束を固めるでしょう。共通の問題に取り組むために、パートナーと協力する能力を高めるでしょう。そしてパートナーが互いに、その地域での安定を得る能力の発達を助け合うのです。

最後に、私たちのサミットは、我々の安全保障と福祉にとって不可欠の、大西洋全体の絆を強める機会となるでしょう。すでに言いましたように、数か月前、ここのある方々から、その絆を強めるための貴重な提案をいただきました。そのように強力に関わってくださること、皆さま方の革新的アイデアに対して、もう一度感謝を申し上げたいと思います。

[ここで言っている意味は、ペンタゴン（米国防省）が、欧州連合（EU）の不利を顧みず、NATO の軍事ドクトリンの決定に、支配的な役割を演じ続けるということである。]

親愛なる皆さま、

ここウェールズにおいて、NATO の 28 加盟国が、我々の安全保障に尽力する姿勢を示すことでしょう。我々の共有する価値と、よりよいヨーロッパの我々のビジョンのために、そのビジョンを防衛するための新しい道具を身に着け、それを実現することにしましょう。

[実際は、「よりよいヨーロッパの我々のビジョン」を防衛するための NATO の新しい道具は、「現実的なヨーロッパ・プロジェクト」の実現を阻害するだろう。それはネオ・リベラリズムの掌握を再強化し、ヨーロッパの主権を覆すことになる。それはまた、法

執行の軍国化と市民の自由の縮小に貢献するだろう。

ヨーロッパはアメリカの覇権に屈服するだろう。それはまた、ヨーロッパの、ロシアや中国のような他国との関係行動に、障壁を築くだろう。]

私は、あなた方にも役割を演じてくださるよう期待しています。あなた方は NATO を信じられておられます。あなた方は若いリーダーです。自分の将来のあり方を決めることができます。

ですから次の何日か、我々にしっかりついてきてください。それから自分の国、自分の都市、自分の共同体に帰って、家族や友人や同僚に、私たちがここウェールズで何をしたかを話してください。

北アメリカとヨーロッパの固有の絆は、我々の自由、我々の安全保障、我々の繁栄の錨（いかり）です。

[EU が、ウォール街やワシントンによって支配された、アメリカの代理国家に変容するということ。]

どうか NATO は冷戦の遺物ではなく、今日と将来の脅威に対処する強力な道具だと言ってください。

[同盟国家への唯一の脅威は、アメリカの軍事的覇権と、ワシントンの利益に奉仕する政治指導者たちの共謀である。]

分割されない、自由で平和なヨーロッパを現実のものとする、我々のビジョンを援助してください。

[NATO のもとに平和はない。]

ありがとうございました。

(以上、NATO 議長アンダーズ、フオーグ・ラズムッセンの開会の言葉)